

PHP & DB & MySQL



本日の授業内容

PHP & DB & MySQL



アジェンダ

- ・データベースとは
- データベース作成
- データベース操作
- PHPでデータ登録
- 課題



データベースとは



データベースとは?

データを一定のルールで蓄積し、必要に応じて取り出せるようにしたもの

◇データベースはExcelファイルと似てます。

- ・データベース : Excelで言うとファイルです。
- ・レコード(行・ロウ) : Excelでは横の行です。 .
- ・フィールド(列・カラム) : Excelでは縦の列です。









データベースと Excel の比較

◇ Excel の場合

 ファイル名 : gs_db
 Sheet名 : gs_an_table
 項目名: id (ユニーク値 [1…max]重複しない値)

項目名: name

項目名: email

項目名: naiyou

項目名: indate

◇データベースの場合

データベース名: qs_db

テーブル名: gs_an_table

フィールド名: id int (数値) ユニーク値

フィールド名: name varchar(文字列)

フィールド名: email varchar (文字列)

フィールド名: naiyou varchar (文字列)

フィールド名: indate datetime (日付)



テーブルの作成

◇データベースの場合

<u>データベース名: gs_db</u>

テーブル名: gs_an_table

フィールド名: id int (数値) ユニーク値

フィールド名: name varchar(文字列)

フィールド名: email varchar (文字列)

フィールド名: naiyou text

フィールド名: indate datetime (日時)

◇ 実際にテーブルを設計すると

テーブル名: gs an table

フィールド名:

id int (12) PRIMARY KEY: AUTO_INCREMENT

name varchar (64)

email varchar (128)

naiyou text

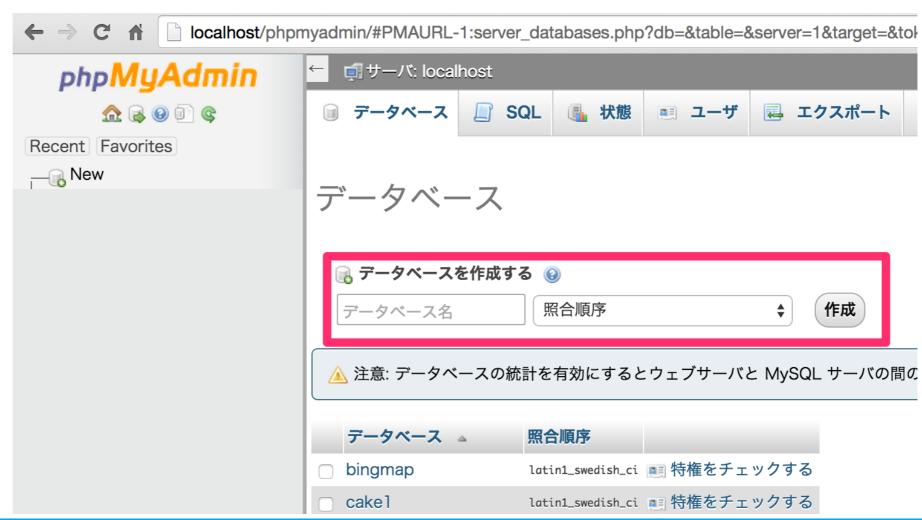
indate datetime



データベース作成

Database作成 (XAMPP使用した場合)

- 1. 最初にデータベースを作成します。http://localhost/xampp/
- 2. 画面に左のメニュー "phpMyAdmin" を選択
- 3. 『データベース』タブをクリック
- 4. 『データベースを作成する』に半角英数で任意のデータベース名、「gs_db」を入力し作成。
- 5. 『照合順序』は utf8_unicode_ci を選択。
- 6. 『作成』ボタンで作成。



アンケートシステムのDB構築

◇テーブル作成

● DB名: gs_db

Table名: gs_an_table

● Field名:

id: int(12) AUTO_INCREMENT PRIMARY_KEY

name: var_char(64)

email: var_char(128)

naiyou: text

indate: datetime

※フォームの項目を増やした場合こちらのFieldも増やしましょう。

※Fieldの右にあるのは、データ型(Type)です。 http://mysql.akarukutanoshiku.com/category5/entry21.html



データベース操作

テーブル基本操作:データベース言語 SQL

MySQLは以下のコマンドを使用してデータ登録・更新・削除が可能です。

◇ SQLコマンド(データ操作)

INSERT: データを"登録"する事ができます。

SELECT: データを"表示"する事ができます。

UPDATE: データを"更新"する事ができます。

DELETE: データを"削除"する事ができます。

◇SQLのコメント

例: -- SELECT * FROM テーブル名;

"一"ハイフンを連続2文字並べることで次の文字からコメントになります。

◇SQLで文字列を扱う

<u>シングルクォートで囲む</u>。<u>ダブルクォートはNG</u>。



テーブル基本操作 SQL

■ INSERT(データ登録)

```
◇書式:
```

```
INSERT INTO テーブル名(カラム 1, カラム 2,...)
VALUES(値 1, 値 2,...);
```

```
INSERT INTO gs_an_table(id, name, email, naiyou indate)
VALUES(NULL, 'ジーズ太郎', 'test1@test.test', 'テスト1','2015-06-15
00:00:00');
```

```
INSERT INTO gs_an_table(id, name, email, naiyou, indate)
VALUES(NULL, 'ジーズ次郎', 'test2@test.test', 'テスト2', sysdate());
```

※文字列を登録する場合<u>シングルクォートで囲んで指定</u>します。



テーブル基本操作 SQL

- SELECT(データ取得)
- ◇書式:

SELECT 表示するカラム FROM テーブル名;

SELECT * FROM gs_an_table; --全指定

SELECT name FROM gs_an_table; --単体指定

SELECT name, email FROM gs_an_table; --複数指定

SELECT * FROM gs_an_table WHERE name = 'ジーズ太郎';

※WHERE を使用して特定のデータを抽出することが可能です。



条件付き検索

◇以下条件付きSQLの一例)

・演算子を使う

```
SELECT * FROM テーブル名 WHERE id = 1;
SELECT * FROM テーブル名 WHERE id >= 3;
```

・AND, OR で検索条件を複数指定する

```
SELECT * FROM テーブル名 WHERE id = 1 OR id = 2;
SELECT * FROM テーブル名 WHERE id >= 1 AND id<=3;
```

あいまい検索をする

```
SELECT * FROM テーブル名 WHERE indate LIKE '2015-06%';
SELECT * FROM テーブル名 WHERE email LIKE '%@gmail.com';
SELECT * FROM テーブル名 WHERE email LIKE '%@%';
```

ソートと制限

◇表示をソートする


```
SELECT * FROM テーブル名 ORDER BY ソートしたいカラム名 ***;
SELECT * FROMテーブル名 ORDER BY id DESC;
SELECT * FROMテーブル名 ORDER BY email, name DESC;
※ DESCは降順でSORT、ASCは昇順でSORT
```

◇表示件数を制限する

書式:

```
SELECT 表示するカラム FROM テーブル名 LIMIT ***;
SELECT * FROM テーブル名 LIMIT 5;
SELECT * FROMテーブル名 LIMIT 3, 5;
```

テーブル基本操作 SQL

■ UPDATE (データ更新)

```
◇書式:
```

```
UPDATE テーブル名 SET 変更データ WHERE 選択データ;
```

```
UPDATE gs_an_table SET
```

```
name= 'ブート太郎' WHERE id=1;
```

UPDATE gs_an_table SET

```
name= 'ブート次郎' WHERE id=2;
```

※ WHERE を使用して特定のデータを更新します→忘れると全てのデータが 更新されるので知っておきましょう。



テーブル基本操作 SQL ■ DELETE(データ削除) ◇書式: DELETE FROM テーブル名; --全て削除 DELETE FROM gs_an_table;

·

--WHRERを使用して特定のデータを削除します。

DELETE FROM gs_an_table WHERE id=1;

注意) DELETEするとデータは復旧できないので気をつけてましょう。



PHP & MySQL データ登録処理

PHPからMySQLを操作する方法「 PDO 」を知りましょう!

◇PDOとは?

PDOは「PHP Data Objects」の略で、PDOを使うことで「MySQL・SQLite・PostgreSQL」など違うデータベースを利用する場合でも、同じ関数で使うことができます。とても便利なものです。(PDOはPHP5.1以降に標準で装備されました。)

◇プリペアードステートメント

prepare()に"プレースホルダ(挿入位置を決めるための文字列)"を用いた SQL を渡し、実際の値は bindValue() や bindParam() などで指定します。 SQL文内にある"プレースホルダ"に変数をバインド(代入・関連付ける) する際に「値は適切にエスケープ」されます。※ エスケープ = 無効化する(SQLインジェクション対策)

\$db = new PDO('DB種類名:オプション属性');

___ //DB接続開始!

\$dbオブジェクト

\$dbオブジェクト->prepare()

①
SQL文字列
\$dbオブジェクト->prepare()->queryString()

②SQL文字列に変数を渡す

(バインド変数)

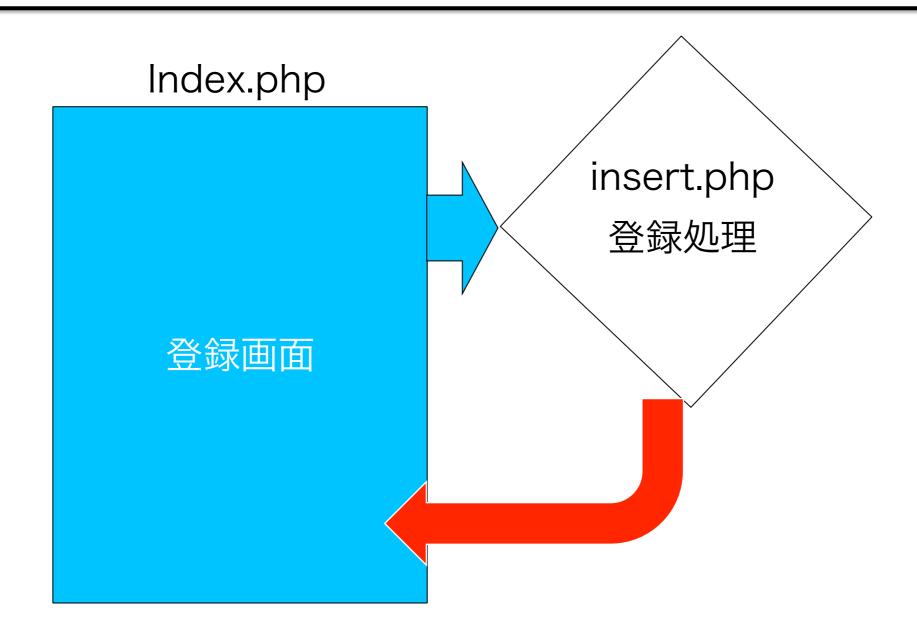
\$dbオブジェクト->prepare()-> bindValue()

- ③ **SQL実行** \$dbオブジェクト->prepare()-> execute()
- ④ データ取得 \$dbオブジェクト->prepare()-> Fetch()

PHPとDB接続

データ登録

データ登録の流れ



```
◇サンプルコード: insert.php
<?php
try {
  $pdo=new PDO('mysql:dbname=gs_db;charset=utf8;host=localhost','root','');
} catch (PDOException $e) {
  exit( 'DbConnectError:' . $e->getMessage() );
//データ登録SQL作成
 $sql="INSERT INTO gs_an_table ( id, name, email, naiyou, indate )
     VALUES( NULL, :a1, :a2, :a3, sysdate() )";
 $stmt = $pdo->prepare($sql);
 $stmt->bindValue(':a1', 'ジーズ三郎', PDO:: PARAM STR);
 $stmt->bindValue(':a2', 'test3@test.test', PDO:: PARAM STR);
 $stmt->bindValue(':a3', 'テスト3', PDO:: PARAM STR);
 //SQL実行
 $flag = $stmt->execute();
```

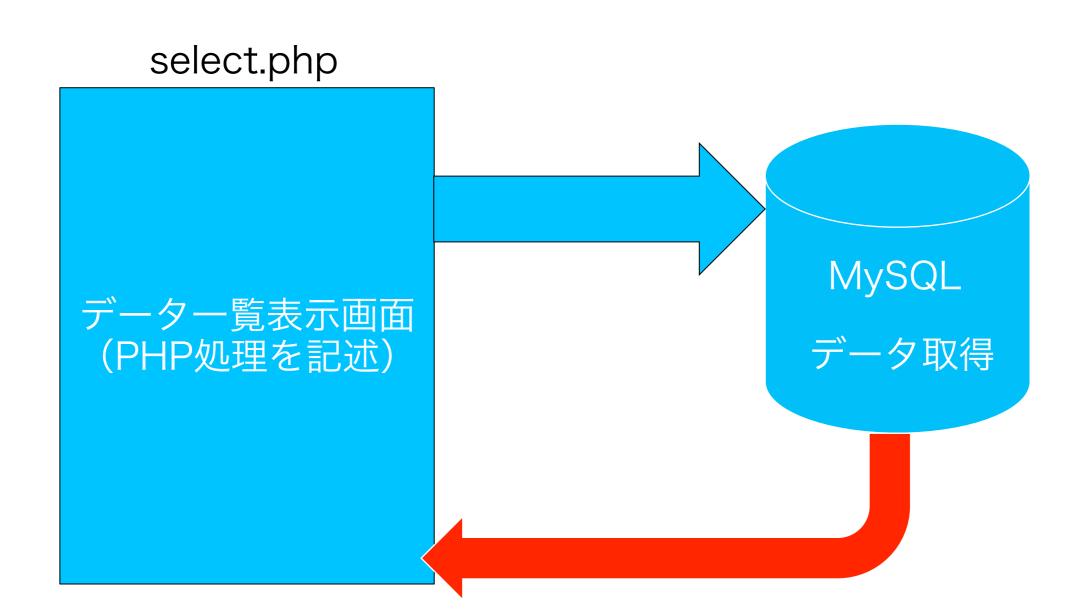
PHPとデータベースの接続 (データ登録)

PHPとDB接続

データ抽出&表示



データ取得の流れ



PHPとデータベースの接続 (データ取得表示) ◇サンプルコード: select.php \$stmt = \$pdo->prepare("SELECT * FROM gs_an_table"); \$status = \$stmt->execute(); view = "";if(\$status==false) { \$error = \$stmt->errorInfo(); //Errorがある場合 exit("ErrorQuery:".\$error[2]); //配列index[2]にエラーコメントあり } else { //Selectデータの数だけ自動でループしてくれる while(\$result = \$stmt->fetch(PDO::FETCH ASSOC)){ \$view .= ''; \$view .= \$result["indate"] ." : ". \$result["name"] ; \$view .= ''; } //※\$view を表示したい場所でechoしましょう!

課題

課題テーブル仕様

本をブックマークするDBを造りましょう!

- DB名: gs_db
- Table名: gs_bm_table
- 項目名:
 - 1. ユニーク値(int 12 , PRIMARY, AutoIncrement)
 - 2. 書籍名 (varChar 64)
 - 3.書籍URL (text)
 - 4. 書籍コメント(text)
 - 5. 登録日時 (datetime)

フィールド名は 自分で考えて実際にテーブルを作成しましょう!



課題登録ページ作成

本をブックマークするPHP処理を造りましょう!

● フォーム項目名:

